

申送り事項の集中協議①「災害時等の対応」の協議結果（報告）

芦屋市議会BCP（案）を作成することを目的に設置された議会BCP検討ワーキンググループでは、これまで中間報告、議員研修会、訓練及び先進市視察を行い、外部専門家からの助言を得ながら11回の会議を重ね、このたび下記のとおり芦屋市議会機能継続計画（議会BCP）（案）（以下、「本議会BCP（案）」という。）をまとめましたので報告します。

なお、「2 議会BCP検討ワーキンググループからの提案」につきましては、お取り計らいいただきますようお願いいたします。

記

1 芦屋市議会機能継続計画（議会BCP）（案）について

別添「芦屋市議会機能継続計画（議会BCP）」（案）のとおり。

2 議会BCP検討ワーキンググループからの提案

(1) 災害対策会議の設置について

現在の「芦屋市議会災害対策マニュアル」（平成25年5月）では、一定の基準以上の場合には芦屋市議会災害対策本部を設置することになっているが、本議会BCP（案）決定後はこのマニュアルを廃止し、新たに「芦屋市議会災害対策会議」を設置するよう改めるとともに、設置根拠についてご検討いただきたい。

併せて、議会基本条例第22条（災害等への対応）の改正についてもご検討いただきたい。

(2) 議会BCP検証会議の設置について

本議会BCP（案）が決定された後も引き続き内容の検証を行うため、議会BCP検討ワーキンググループ設置期間終了後の本年6月以降は、会派から1人推薦された委員で構成する（仮称）「議会BCP検証会議」を今期中は通年設置していただきたい。

(3) 感染症対策に関する検討について

本来BCPは感染症対策についても議論を深める必要があるが、本議会BCP（案）の策定過程で対象の中心となったのは地震や風水害であったことから、記載内容を明確にしておくため、サブタイトルを「地震・風水害編」としている。

このことから、現在も拡大している新型コロナウイルス感染症に関する本市議会の対策や取組を記録として残し、それを参考として感染症対策について今後検討していただきたい。

(4) 今後の課題について

本議会BCP（案）第1編には今後の課題をまとめている。上記(1)から(3)以外の内容についても記載しているので、引き続き検討していただきたい。

以上